

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

丹波篠山市立西紀きた幼稚園

園長 堀 香 織

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

くさやま大好き 未来の創り手となるきたっ子の育成
～げんき なかよし 力いっぱい～

2 今年度の重点目標

園児や地域の実態を踏まえた特色ある教育課程を編成し、子どもの「より良い育ち」を実現する環境（人・自然と関わる場、学びの場）づくりに努める。
【めざす園児像】 「元気な子 仲良くする子 力いっぱい活動する子」

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程	遊びの充実と支援	A	園児が好奇心を持って活動ができるように、保育環境を整えるようにした。園児の気づきを深められるような支援を心がけた。園児が成長している様子を保護者も体感することができているとともに、何より園児が幼稚園に行くことを楽しみにしており、充実した毎日を過ごせていることが一番嬉しく感じているところである。
	食育と眠育 基本的な生活習慣の定着	D	給食指導においての食育は計画的に進められた。しかしながら基本的な生活習慣の習得という点では、時間にルーズで遅刻が多い、朝食を食べてこない、お箸が使えない、偏食、大便是おむつでしかできない等幼稚園がしつけの場になっており苦慮している。なお、年度当初よりアタマジラミが発生したが、1家庭以外は駆除に協力的であった。保護者の足並みがそろわないため、現時点でも広がり懸念があり、保育に大いに影響を及ぼしている。当該保護者への強い指導を行うとともに、当該園児の身体の清潔に努めたが、園でできることには限度があり、行政の家庭への指導に期待したい。保護者間でも当該家庭に対する不満は高まっており、次年度以降も園経営に大きな支障となることが懸念される。
	幼小連携	B	年長組と1年生は来年度複式学級になるため、スタートアッププログラムの一環としての生活科の授業参加やいもほり等の体験活動を一緒にしたり、高学年が運動会においてダンス参加したりなど、小学校側は学年を問わず交流した。年長児にとっては、小学校で学ぶことへの期待感が大いに高まったと思われる。
安全管理	健康管理	B	感染症の予防のため、手洗いの励行等に努めた。ただ、子の体調が悪いにもかかわらず登園させる保護者の対応に苦慮することがあった。
	安全・安心な園づくり	B	園安全全体計画を見直し、職員の共通理解の下、安全教育や安全管理に関する意識を高めた。小学校と連携して避難訓練や引き渡し訓練を行う等園児の防災意識を高めることもできた。

保護者・地域との連携	情報提供	A	園だより、学級だより、HPで園児の活動の様子を知らせるとともに、HPの更新頻度を上げ、園での様子を周知するよう心がけた。隣の老人デイケア施設等、地域交流も積極的に行い、お年寄りに喜んでいただいた。
	保護者や地域に開かれた園づくり	A	年度当初に園に対する信頼を失うようなことが起きたにもかかわらず、今回の保護者アンケートを見る限り、幼稚園を信頼されている状況にあることがわかった。着任いただいた前河先生に感謝するとともに、この状態を継続していきたい。また、地域の方も幼稚園の保育に関心が高く、協力的であり、支援していただける方も多く有難いばかりである。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> ・園児が「げんき なかよし 力いっぱい」の合い言葉通りの幼稚園生活を送れていることが一番素晴らしいことと感じる。 ・園児の声が地域でよく響いている様子より、元気で毎日楽しく園生活を送っていることがわかる。しかしながら、今回の自己評価で幼稚園教育以前の問題を抱えている園児が多いことがわかりビックリした。
--

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの結果より、保護者も我が子の成長を感じることができていることが分かり、また、幼稚園が信頼されていることもよく分かる。これからも園児がのびのびと遊びを通して楽しみながら学ぶことのできる環境を整えてほしい。 ・本年度、本園では教諭不在やアタマジラミなど憂慮すべき状況があり、先生方も苦勞されたと思う。しかしながら、この問題の解消に向けて幼稚園よりも上位である市や県レベルが対応するべきではないか。現場レベルで、課題が解消できるとは思わない。 ・1学期の段階で、学校園運営委員会や育友会として「ふるさと一番会議」等で市長に対して発言したり、要望書を上げたりした。先生の配置については解決したが、アタマジラミについては未だ解決していない。この状況について地域・保護者が困っている状況を市当局は理解しているのか。明らかなネグレクト案件として子どもの一時保護とかの強い措置がとれないものか。また、どうすれば一時保護等の措置がとれるのか教えてほしい。地域・保護者としては手詰まりの状況である。学校園運営協議会としてもできることをしていきたい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・D評価の点に関しては、園の課題ではない。 ・今後、当該家庭ばかりに気を取られすぎるのではなく、他の子どもに影響しないかを見ていってほしい。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康管理については、児相、行政との連携を図ってほしい。
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝預かりの7:30から、預かり施設で18:30まで過ごす、また土曜日も平日と同じ状況にある園児が多い現状を憂う。また、家庭教育の範疇であることを幼稚園等で補っていることについても憂う。 ・幼稚園との交流でお年寄りは元気をもらっている。今後も継続した取組を願う。 ・学校園だよりやHPで子どもたちの様子が見られるのはとても嬉しい。